

第2回 放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会
2012年2月18日



畜産業の復興について： 南相馬市警戒区域内における暴露状況

農学生命科学研究科 附属牧場

目的

畜産業の復興を具体化するために、高汚染レベルにおける家畜と環境の放射性核種による汚染状況を把握する。



経緯

- 平成23年3月11日：東日本大地震
- 3月17日：食品衛生法上の暫定規制値設定
- 4月22日：警戒区域（福島第1原発から半径20キロ以内）設定
- 5月12日：所有者の同意を得た上で、警戒区域内の家畜の殺処分決定（原子力災害対策特別措置法）
- 平成24年4月1日：食品衛生法上の規制値設定

経緯

警戒区域内の飼養頭数（概数）

平成22年10月（畜舎約380ヶ所）

牛約4000頭

豚約3万頭

馬約100頭

鶏約90万羽

平成23年5月

牛約3500頭

豚約2万頭

鶏約60万羽

平成24年2月（放れ家畜）

牛約600頭

豚約200頭

採材

採材場所：福島第一原子力発電所から18キロ離れた福島県南相馬市小高区川房地区

採材日：平成23年9月16日

家畜の採材：警戒区域内で約5カ月間放飼状態後捕獲され、約1か月飼養後、原子力災害対策特別措置法に従って安楽死処分された豚（3頭）、牛（3頭）、妊娠牛と胎仔（各1頭）の臓器、尿、消化管内容物と糞など

家畜の安楽死の方法：福島県の獣医師が鎮静剤を筋肉注射した後、麻酔剤を投与して深麻酔状態とし、これに筋弛緩剤を投与することで安楽死させた。死亡確認後、採材した。

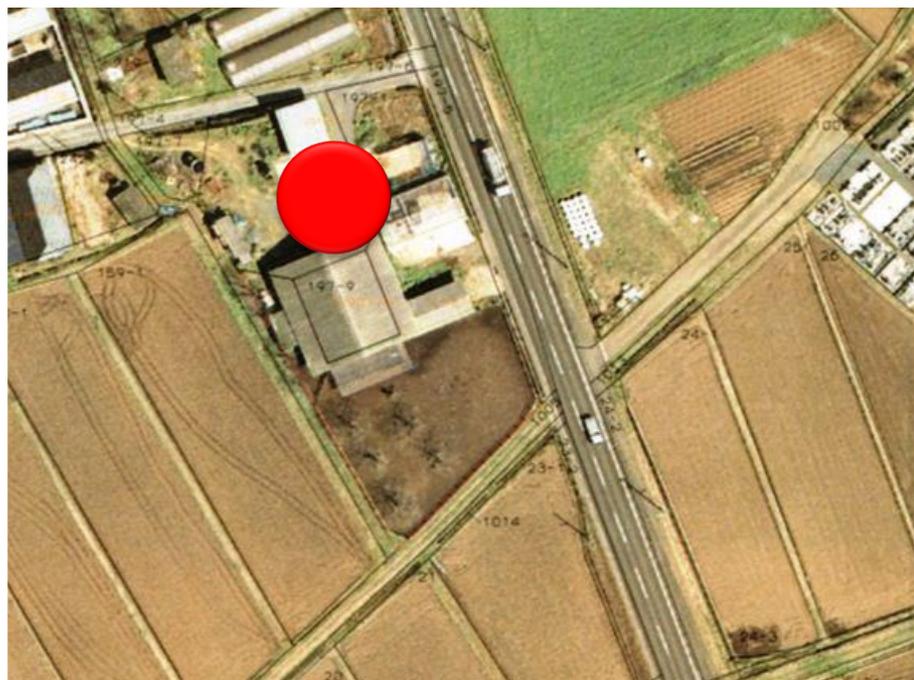
その他の採材：土壌、植物、堆肥など



採材



採材



一時繫留場



埋却場

採材

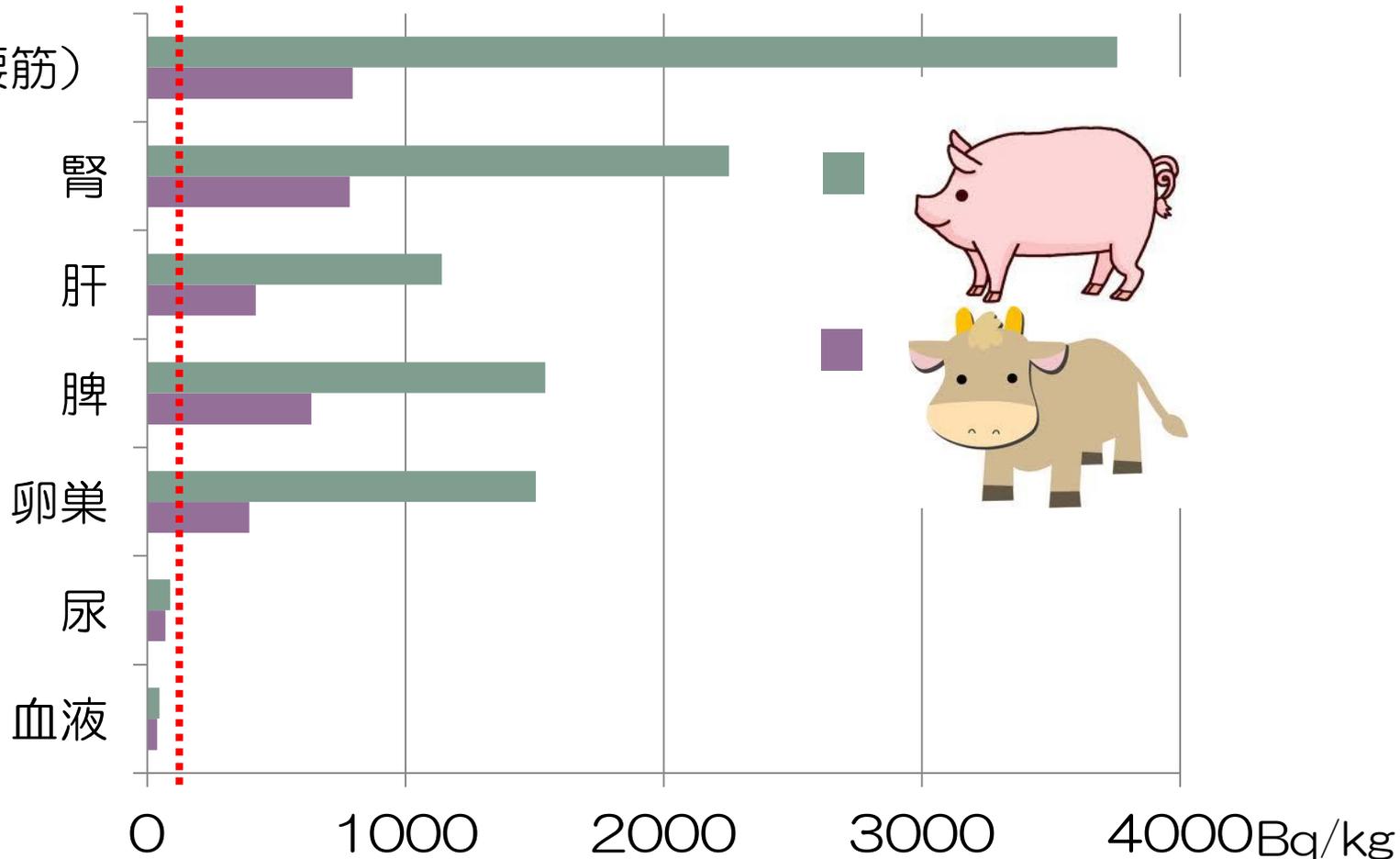


家畜の汚染

各3頭

一般食品の新規制値 (100 Bq/kg)

骨格筋 (大腰筋)
→ フィレ肉



家畜の汚染

母牛と胎仔各1頭

一般食品の新規制値 (100 Bq/kg)

骨格筋 (大腰筋)

腎

肝

脾

卵巣

尿

血液

胎盤

臍帯

羊水

■ 胎仔

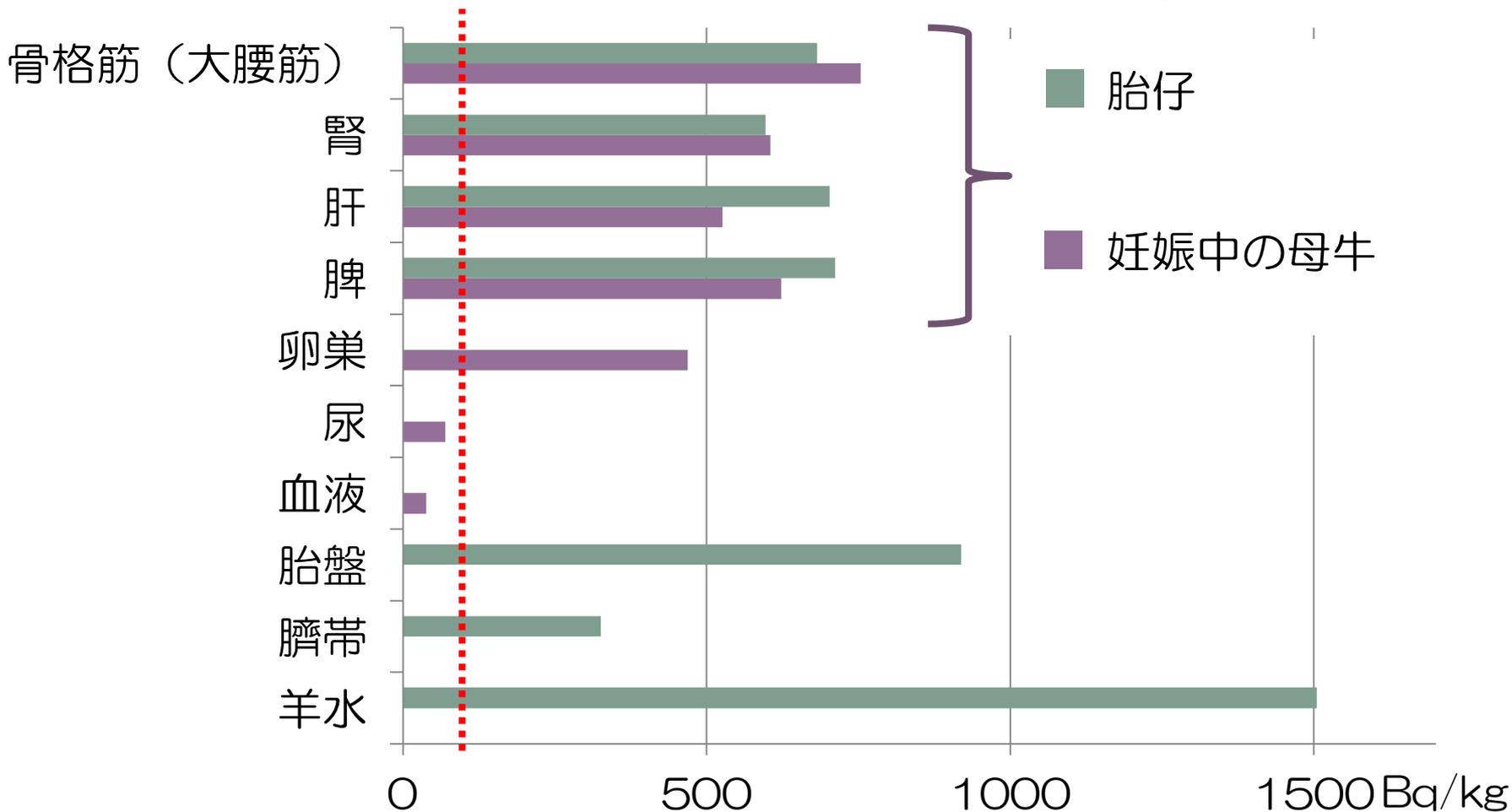
■ 妊娠中の母牛

0

500

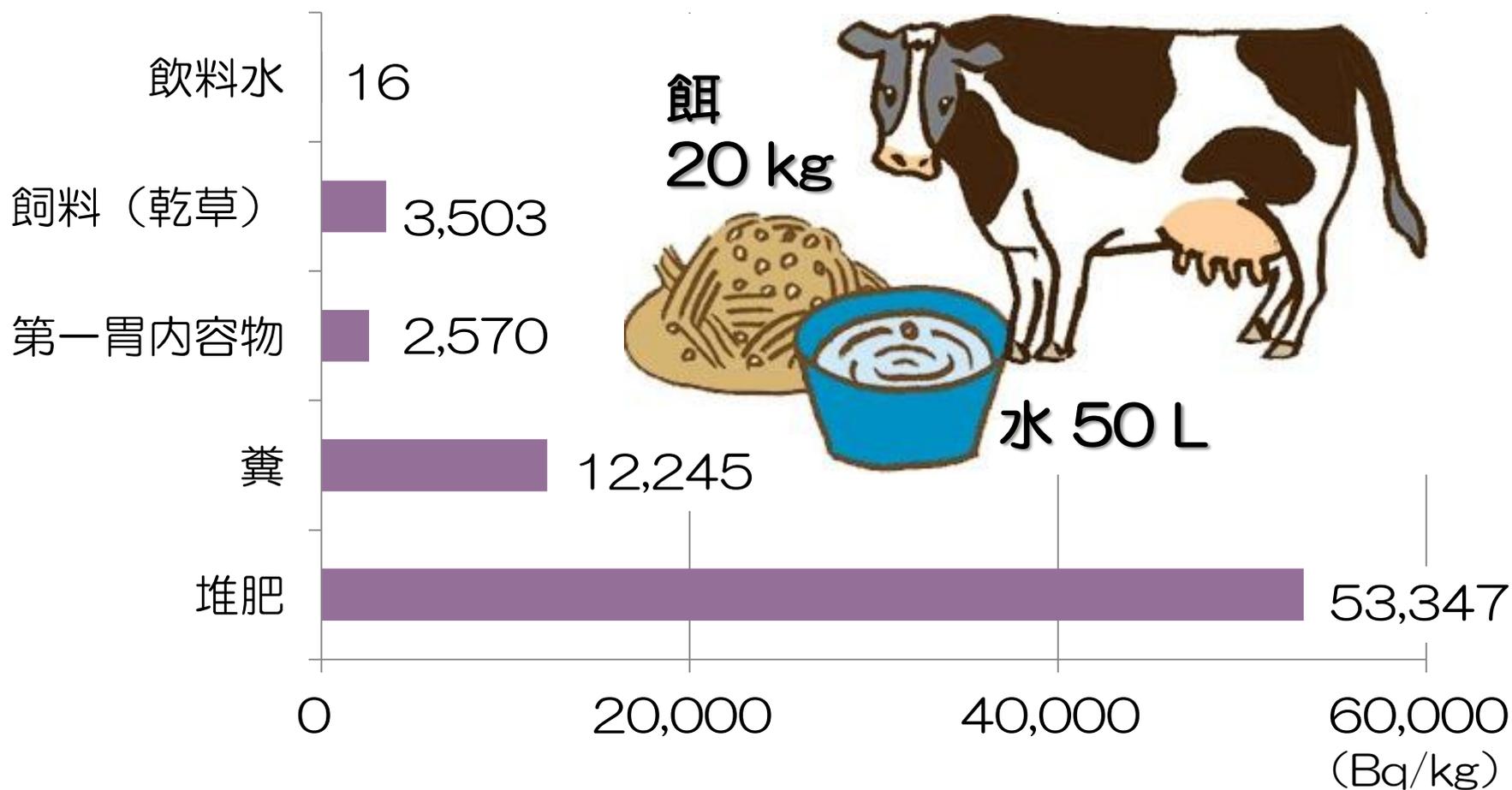
1000

1500 Bq/kg



環境中の動態

放射性セシウム (Bq/kg)



環境中の動態

